

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実績及び効果検証

No	事業名	事業概要	対象	実績	効果・検証	総事業費	うち交付金(円)	事業始期	事業終期	担当課
1	プレミアム商品券事業	新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ経済の回復を目的にプレミアム付商品券を町民に販売し、消費拡大を図る。	[東彼商工会に事業委託]本町に住所を有する者及び本町宿泊施設に宿泊した者	町民向けにタウンプレミアムチケットを合計47,933冊販売し、町内宿泊客にエンジョイプレミアムチケットを合計4,575冊配布した。	商品券発行により、町内取扱店で消費され、町内事業所の活性化と町民等への消費喚起効果が図られ、町内循環型消費拡大へとつながった。	119,656,464	119,656,464	R4.5.1	R5.3.31	商工観光課
2	子育て世帯応援給付金事業	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中において、子育て世帯を応援するため、児童一人当たり30,000円を支給する。	0歳から中学3年生までの児童(令和5年3月31日までに生まれた子を含む)	合計1,150世帯に支給した。	給付金支給により、子育て世帯への生活支援を図ることができた。	61,749,028	61,500,000	R4.7.1	R5.3.31	子ども健康保険課
3	学校給食物資高騰支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う物価の高騰により、食材費の高騰に伴う学校給食費の負担を軽減する。	町内の小学校、中学校に通っている児童生徒	第2子半額、第3子以降無償(190日間) ・第2子(小学生280人、中学生35人) ・第3子(小学生79人、中学生15人)	食材費の高騰分について、学校給食に関する保護者負担の軽減を図ることができた。	61,490,209	16,100,000	R4.4.1	R5.3.31	学校給食センター
4	学生等臨時応援給付事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済活動が低迷する中で、その影響を受けやすい学生や家庭を支援するため、主に町内で利用できる商品券を支給することで経済的負担の軽減を図る。(一人あたり50,000円)	大学等の学生の保護者または単身の学生本人で、令和4年4月1日時点で波佐見町に住所があるもの。	合計476世帯657人に支給した。	新型コロナウイルスの影響により家計の急変やアルバイトの収入減等により、修学継続が危ぶまれる学生に必要な経費の一部を支援することができた。	25,501,094	17,089,283	R4.9.1	R5.3.31	教育委員会
5	農業資材高騰支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、物流産業の変化などから物価が高騰し、農業資材等の高騰に伴う価格高騰分の負担を軽減する。 ・飼料高騰対策(200円/t) ・農業資材高騰対策(1,000円/10a) ・燃油高騰対策(重油:10円/l)	本町農業経営者	合計19件の農業経営者に支給した。	農業資材の高騰の影響を受けた農業者の経営の安定を図ることができた。	980,307	980,307	R4.9.1	R5.3.31	農林課
6	燃料費等高等対策支援事業	コロナ渦において燃料費等の価格高騰の影響を受ける町内事業者に支援金を支給することで、負担軽減を図る。(上限額10万円)	令和4年1月1日時点において、町内に事業所を有する事業者	合計506件の事業者に支給した。	燃料費高騰の影響を受けている町内事業者に対して支援金を支給することで、事業の継続に繋げることができた。	42,717,846	42,717,846	R4.12.1	R5.3.31	商工観光課
7	保育施設等物価高騰対策支援事業(物価高騰対応分)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う物価の高騰により、保育施設等における副食費高騰分を支援し、負担を軽減する。(令和4年10月～令和5年3月の副食費高騰分(700円×6月×人数分))	本町認定子ども園、保育園	合計660人の副食費高騰分を支援した。	副食費高騰による負担が増えた民間保育所等への支援を行い、安定した運営の継続につなげることができた。	2,767,100	2,767,100	R4.12.1	R5.3.31	子ども健康保険課
合計						314,862,048	260,811,000			